

- 問1 茨城県や千葉県、群馬県などの関東地方の各県で行われている農業は、東京都という巨大な消費地に隣接または近接している利点を活かしています。この地域で行われる農業が、遠方の産地と比較して経営面で有利であるとされる主な理由として、最も適切な説明はどれか。 （2026年 福島県公立入試 類似）
1. 標高の高い地域の冷涼な気候を活かして、他の産地の出荷が終わった夏から秋にかけて野菜を出荷できる点。
 2. 消費地までの距離が短いため、輸送費を抑えることができ、収穫したばかりの新鮮な農産物を出荷できる点。
 3. ビニールハウスや温室などの施設を利用することで、自然の条件よりも早い時期に収穫し、品薄な時期に高値で販売できる点。
 4. 広大な土地を利用して、機械化を大規模に進めることで、小麦や大豆などの穀物を低コストで大量に生産できる点。
-
- 問2 関東地方にある4つの都県の統計において、製造品出荷額が約17兆円と極めて高く、情報通信業の事業所数が258、漁獲量が290トンとなっている県はどこですか。 （2026年 和歌山県公立入試 類似）
1. 埼玉県
 2. 東京都
 3. 千葉県
 4. 神奈川県
-
- 問3 栃木県の産業について、足尾銅山のような歴史的背景を持つ鉱業から、現代の工業へとどのように変化しましたか。現在の栃木県の工業的特徴を説明したものとして最も適切なものを選んでください。 （2023年 京都府公立入試 類似）
1. 輸出向けの絹織物を中心とした軽工業が、現在も県全体の製造品出荷額の大部分を占めている。
 2. 東北自動車道などの高速道路沿いに、自動車や電気機器などの機械工業の工場が多く進出している。
 3. 広大な平野を活かし、製鉄所や石油化学コンビナートが立ち並び重化学工業地帯を形成している。
 4. 渡良瀬川の水力を利用したアルミニウム精錬が、県を代表する製造業となっている。
-
- 問4 日本の外国人労働者に関する統計において、中国、ベトナム、フィリピンに次いで4番目に多い約10万人の労働者数を記録し、特に群馬県や愛知県などの工業が盛んな地域に多く居住している人々がいます。自治体の窓口においてポルトガル語での支援体制が整えられていることが多いこの人々は、どこの国にルーツを持っていますか。 （2018年 鳥取県公立入試 類似）
1. ペルー
 2. インドネシア
 3. ブラジル
 4. ネパール
-
- 問5 日本の工業出荷額の統計において、中京工業地帯に次ぐ規模を維持し、近年その割合を上昇させている北関東工業地域の背景について、正しい記述はどれですか。 （2022年 佐賀県公立入試 類似）
1. 東京に近い利点を活かし、中小規模の工場による印刷業や食料品工業が都市部で高度に発展したため。
 2. 高速道路を利用したトラック輸送の利便性を活かし、内陸部に電気機械などの加工組立型工業が集積したため。
 3. 太平洋沿岸の良好な港湾施設を活かし、海外からの原料輸入に依存する鉄鋼業や石油化学工業が発展したため。
 4. 豊富な地下資源と水力発電を利用するために、山間部へアルミニウム精錬工場が数多く誘致されたため。
-
- 問6 関東地方の大学数を比較した統計資料によると、東京都が143校と突出して多く、次いで神奈川県（31校）、埼玉県（28校）、千葉県（27校）となっており、群馬県（14校）などの北関東の県と比較して南部の都県に集中しています。このような大学数の分布傾向が生じる背景を説明したものと、最も適切なものを選びなさい。 （2022年 沖縄県公立入試 類似）
1. 東京大都市圏への人口集中にともない、教育や雇用の機会を求めて学生が集まるため、東京都心やその周辺に大学が多く立地している。
 2. 関東地方のすべての県で大学数を均等にするため、人口の少ない県ほど1校あたりの学生定員を増やすよう法律で義務付けられている。
 3. 北関東の各県は農業や工業に専念する地域として区分されているため、大学などの教育機関を設置することが制限されている。
 4. 交通網が未発達であり県境を越えた通学が困難なため、各県が独自に同規模の大学群を整備した結果、人口比に応じて差がついている。
-
- 問7 群馬県などの標高が高い地域では、夏の涼しい気候を活かしてキャベツなどの野菜を栽培する農業が行われています。このような地理的条件を利用した農業の名称として正しいものを選びなさい。 （2022年 兵庫県公立入試 類似）
1. 近郊農業
 2. 施設園芸農業
 3. 高冷地農業
 4. 二毛作
-
- 問8 茨城県では、東京などの大消費地に近いという立地条件を活かし、野菜などの新鮮さが求められる農産物を生産して出荷する農業が盛んに行われています。このような農業の形態を何と呼びますか。 （2024年 高知県公立入試 類似）
1. 近郊農業
 2. 促成栽培
 3. 適地適作
 4. 土地生産性農業
-
- 問9 京浜工業地帯において、出版・印刷業や情報通信などの情報サービス機能が高度に集積している理由として、最も適切な説明はどれですか。 （2017年 山口県公立入試 類似）
1. 労働賃金が他の工業地域に比べて非常に低く、労働集約的な産業の維持に適しているため
 2. 政治や経済の中枢である東京に位置し、情報の発信地や巨大な消費地が隣接しているため
 3. 内陸部に広大な土地が確保されており、大規模な工場の建設が他の地域よりも容易であったため
 4. 原料となる木材やパルプの輸入拠点となる大規模な港湾が、この地域にのみ集中しているため
-
- 問10 関東地方北部に位置する内陸県であり、広大な平野部を利用した米作りや、いちごの産出額が非常に多いことで知られる、農業が盛んな県はどこか。 （2023年 山形県公立入試 類似）
1. 茨城県
 2. 栃木県
 3. 群馬県
 4. 埼玉県
-
- 問11 渋谷駅周辺の地形的な特徴を説明した文として、適切なものはどれですか。なお、渋谷駅前の地点の標高を15m、そこから渋谷川沿いに南下し、南西方向に進んだ代官山駅東側の高台にある地点を29mとします。 （2017年 佐賀県公立入試 類似）
1. 渋谷駅前から代官山駅付近までは、渋谷川の堆積作用によって形成された広大な平坦地が続いている。
 2. 渋谷川を越えて北東方向にある恵比寿駅方面へと進むと、最も標高の高い地点に到達する。
 3. 渋谷川沿いの高台から、南西方向にある代官山駅付近の低地へと向かうため、ルートの途中で下り坂になる。
 4. 渋谷川が流れる低地から、南西方向にある代官山駅付近の台地へと向かうため、ルートの途中で上り坂になる。
-
- 問12 関東地方の人口移動に関する資料において、埼玉県や千葉県は「昼夜間人口比率」が100を下回る傾向にあります。このような、都心部へ通勤・通学する人々の居住地としての役割が強く、昼間の人口が夜間の人口よりも少なくなる地域を指す言葉として適切なものはどれですか。 （2018年 兵庫県公立入試 類似）
1. ベッドタウン
 2. 政令指定都市
 3. 限界集落
 4. ニュータウン